



# 室小だより

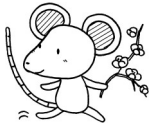
茅ヶ崎市立室田小学校

令和2年(2020)年 1月号

校長 大越 敏孝



## 2020年のスタート ～令和元年度後期後半開始～



2020年が始まりました。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年。楽しみにしている児童も多いことと思います。4月から新学習指導要領が全面実施となり学習内容が一部変わったり、特別支援学級が開設されるなど、今年は室田小学校にとっても大きな節目の年となります。

今年は「子年」。「子」という字は「種子の中で新しい生命がぎざし始める状態」という意味があるそうです。種子から芽が出て、大きく育ち、やがて花が咲き、実がなり新しい種子ができる。新しい物事の周期が始まることを表しています。「子」は子どもの「子」でもあります。改めて子どもを基点として、子どもたちの可能性をさらに伸ばしていくことができるような教育活動に努めていきたいと思っています。

今年のお正月も、青空の広がる穏やかな日が続きました。この一年が皆様にとって素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。保護者・地域の皆様には本年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお祈りいたします。

### 2019年度全国学力・学習状況調査の結果について

平成31年4月に6年生を対象に実施した、「全国学力・学習状況調査」の本校の結果の概要についてお知らせします。今回の調査は、昨年度までと違い国語・算数について「『知識』に関する問題」「『活用』に関する問題」には分けずに調査が行われました。また、学校や家庭での過ごし方やさまざまな活動への意欲等を調査する「児童質問紙」による調査も行われました。本調査から得られた結果は、児童の学習や生活の状況のすべてを表すものではありませんが、これらの実態や傾向を踏まえ、校内授業研究等をさらに充実させ教員の授業力向上を図るとともに、日々の教育活動に生かしてまいります。なお、6年生には、すでに各自の結果を配付しています。

#### 【国語】

- 相当数の児童が、出題されている学習内容について概ね理解しています。
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかんまり、本や文章全体を概観して効果的に読むこと、等しい文章の内容は相当数の児童ができており力を発揮しています。
- ・「漢字を正しく書くこと」（「友達に限らず」「関心をもつ」）や、「ことわざの意味を理解して自分の表現に用いること」（「習うより慣れる」）に課題が見られました。
- ・「文と文」との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと（「～。そこで、～」）に課題が見られました。
- \*国語の勉強は好きだと答える児童は半数を超えています。国語の勉強の大切さや授業の理解度、学習したことを普段の生活の中で活用しようとしている児童は8割を超えており、特に国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするときにうまく伝えようとする理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫している児童は多く、全国・県レベルを超えています。これは、校内授業研究において「話す・聴く・説明する」指導を低学年から継続して取り組んできた成果でもあると思われます。

#### 【算数】

- 相当数の児童が、出題されている学習内容について概ね理解しています。（全国・県の平均レベル）
- ・「図形（台形）の理解」「棒グラフから、数量の大きさの関係を読み取ること」「日常生活の問題の解決のために、伴って変わる二つの数量を見いだすこと」「示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式すること」など、多くの情報から必要な数量を選択し表現することなど、数学的な考え方については、相当数の児童が力を発揮していました。
- ・「加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること： $[6 + 0.5 \times 2]$ 」や「示された除法の式の意味を理解している： $[1800 \text{ (円)} \div 6 \text{ (m)}]$ は何m分の値段を表しているか」など、数量についての知識・理解、技能については課題が見られました。
- \*算数の勉強は好きだと答える児童は7割を超えています。算数の新しい問題を解いてみたいと思う児童も8割を超えています。全国・県平均に比べて高い割合をしめしており、算数の学習に意欲的に取り組もうとしていることがうかがえます。ほとんどの児童が「算数の勉強は大切です、将来、社会に出たときに役立つ」と思っており、学習したことが普段の生活の中で活用できるときにも諦めずいろいろな方法を考える児童が多く、公式やきまりを習うときは、算数の問題を解くわけを分かっていっています。一人学び、ペア学習を通して学級全体でさまざまな考え方を共有することが一人ひとりの学びの充実につながっています。

#### 【児童質問紙】

- ・児童の回答では、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等ほとんどの項目において全国・県レベルを上回る結果が出ています。特に児童の自己有用感や規範意識は高く、学習習慣においても良好な傾向が見られました。児童の8～9割の肯定的な回答があったものは次のとおりです。
- 自己肯定感
  - 「自分にはよいところがある」「自分のよいところを先生に認められていると思う」「将来の夢や目的を持っている」「ものごとを最後までやり遂げてうれしいと思ったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしいと感じたことがある」
- 規範意識
  - 「学校のきまりを守っている」「人が困っているときに進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」
- 学習習慣
  - 「家で自分分て計画を立てて勉強をしている」「学校の授業時間以外に1日あたり1時間以上学習をしている」「学校の授業時間以外に1日あたり30分以上読書をしている」「読書が好き」「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」
- 地域や社会に関わる活動の状況等
  - 「地域や社会行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい」「日本や自分の住んでいる地域のことについて外国の人に知ってもらいたい」